

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	情報システム学概論		
英文授業科目名	Introduction to Information Systems		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	福田 豊		
居室	西6-509		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fukuda@hc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>今や情報技術は現代社会の基盤的技術として大きな影響力をもたらしている。その影響力を「情報現象」として捕捉し、それをトータルに解明することが、現代社会の理解や近未来社会の構想に必須である。またそれは、情報技術の開発や応用に関するガバナンスの重要な前提となるものである。</p> <p>この講義では、社会における情報現象の本質と構造を理解するのに必要な基本概念と知識を、テクノロジーの発展に注目しつつ、社会科学的なスタンスで、習得することを目標とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
コミュニケーション科学

<b>【教科書等】</b>
<p>参考書：</p> <p>福田豊『情報化のトポロジー』（御茶の水書房）</p> <p>福田・早見・須藤著『情報経済論』（有斐閣アルマシリーズ）</p>

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

- 1 科学技術と経済・社会
- 2 IT (情報技術) について
- 3 ITを構成する諸領域の発展について
- 4 情報化の現実的プロセスとIT
- 5 情報概念と情報類型
- 6 経済システムと情報

(b) 授業の進め方：

単なる事実や現象を表面的に整理したり、分類したりするだけでなく、その底に潜む傾向や法則、理論を意識したり理解したりできるように授業を進める。

資料は多く提供するが、自らも情報現象を収集したり考えたりする態度を求めたい。

また、毎回、前回の授業の理解度を確認するために、簡単な小テストを実施する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

a) 評価方法：

試験およびレポートの結果を、次のように総合評価する。

成績評価 レポート 10%

小テスト 10%

試験 80%

(b) 評価基準：

合格基準は、次の(1)と(2)を満たすものである

(1) レポートが全て提出されていること

(2) 試験において問われる基本概念や知識の理解が必要最小限なレベルに

到達していると判断されること

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで随時受け付ける。また、必要な場合には面談時間を設けて対応する。

【学生へのメッセージ】

情報ないし情報化概念は、社会の複雑で有機的な関連をこれまでにない視角から明らかにできる新しい切り口を提供してくれると同時に、新たな社会的コンテクストを形成するためにとるべき途を指し示してくれます。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【その他】

現在「基礎情報学」として開講されているものと同じ授業。